

<神の力強い御手の下>

I ペテロ 5 : 6 ~ 11



へりくだる・・・「自分を謙虚にし、相手に対して敬意を示す」が一般的な意味。

聖書は「神の力強い御手の下に、へりくだりなさい」と教えている。

なぜ、へりくだることが大切なのか。

ですから、あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くして下さるためです。 I ペテロ 5 : 6

神は、高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。 ヤコブ 4 : 6

<ヨブの生涯から学ぶ>

大きな試練がヨブを襲ったが、全て神の手の中にあると、明け渡していた。

しかし、やがて自分の人生を恨むような言葉を口にする。

行き着く所まで行きついたヨブに、沈黙を破って神が語りかけた。

知識もなく言い分を述べて摂理を暗くする者はだれか。私が地の基を取めた時、

あなたはどこにいたのか。あなたが悟ることが出来るのなら、告げて見よ。 ヨブ記 3 8 章

ヨブの応答は

あなたには、すべてができること、あなたはどんな計画も成し遂げられることを、私は知りました。

知識もなく、摂理をおおい隠す者は、だれか。まことに、私は、自分で悟りえないことを告げ

ました。自分でも知りえない不思議を・・・それで私は自分をさげすみ、ちりと灰の中で

悔いています。

ヨブ記 4 2 章

ヨブは神の力強い御手の下にへりくだった。

へりくだる・・・自分が握っていた主権が自分の手から、神の手に移る。

自分を明け渡す。すると・・・神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くしてくださる。

「時」＝「カイロス」 主が定められた時、完璧なタイミング。

「ちょうど良い時」は神がもっている。

ペテロが「身を慎み、目を覚ましていなさいと」言っているのは何故か。

この戦いの激しさを「ゲッセマネの園」で身を持って体験していたから。

悪魔との戦いは厳しく、激しい！ どうしたら良いのか？

『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山にすわろう。密雲の頂に上り、いと高き方のようになろう。』しかし、あなたはよみに落とされ、穴の底に落とされる。

イザヤ14：13～15

サタンは自分が神であるかのように、光の御使いに変装する。

「サタンが光のみ使いに変装する」Ⅱコリント11：14

私たちがだますために、光に対する私たちの愛を利用する者。

サタンに負けない方法。それは、神の力強い御手にへりくだること。

へりくだりは、自分に死なないと出来ない。頑なな自分が砕かれないと出来ない。

自分に死ぬことを通して生まれる従順がへりくだり。